

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

8月18日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。一方で、試験籠に設置した6枚の付着用耐水紙の1枚に、ザラボヤ2個体の付着が確認されました。体サイズは、約5mmであったことから、7月中～下旬には付着が起っていた可能性があります（図1）。また、付着サイズが小さいためか、試験籠への付着は確認できませんでした。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温【℃】	クロロフィル【μg/L】	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0～10m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～20m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～30m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
なか	0～10m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～20m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～30m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しも	0～10m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～20m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～30m	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* 機材不調のため、海洋観測は実施できませんでした。



図1 耐水紙へ付着したザラボヤ（5mm方眼）

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：9月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場HPからも確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>